

【研究課題名】熱傷患者におけるリハビリテーション介入効果について

このたび当院では、入院されていた患者さんの診療情報を用いた標記研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を『6. お問い合わせ先』に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1. 研究の対象となる方

2014年6月～2024年3月に当院で熱傷と診断され、入院しリハビリテーション治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、過去10年間に当院で治療を受けた熱傷患者約80例を対象に、リハビリテーションの効果を検討することである。具体的には、早期離床、関節可動域訓練、圧迫療法、作業療法などの介入が、ADL（Activities of Daily Living）の向上に与える効果を評価する。

研究実施期間：研究機関の長の許可日 ～ 2026年3月31日まで

情報の利用を開始する予定日：公開から20日後

3. 研究に用いる情報の種類等

研究に用いる情報：性別、年齢、入院からリハビリテーション開始までの期間、リハビリテーションに関わった職種、既往歴、転帰先 等

本研究に用いる情報は診療録から必要な情報を収集し、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、研究責任者が個人情報を厳重に保護し、当院のみで使用し他の研究機関への提供はしません。また、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

4. 情報を利用する者の範囲

山梨県立中央病院 リハビリテーション科 小林克也
高度救命救急センター科 岩瀬史明 医師

収集した情報は当院リハビリテーション科でのみ利用し、情報については個人情報が特定されないように情報管理責任者（研究責任者）が厳重に保管します。

5. 情報の管理責任者

山梨県立中央病院 リハビリテーション科 小林克也

6. お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。また、本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。

連絡先：研究責任者 山梨県立中央病院 リハビリテーション科 小林 克也
〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号
TEL：055-253-7111（代表）